

# 途 上



題字：副校長 文責：教頭

前号が配られたのは6月5日。分散登校が終わり、遅出登校ではありましたが、給食を挟んでの通常登校が始まる時でした。あれから早いもので1ヶ月が過ぎました。『新しい生活様式』を意識しての生活の中、子どもたちは、朝の活動が始まる時間までは教室を中心に過ごしています。読書をする、ドリルをする、辞書を片手に調べものをする、持参した問題集を解く、竹とんぼを改良する、木材を切るなど、様々な姿が見られます。教室から飛び出す学級もあります。学級園でのどろ遊び、ヒツジやヤギのお世話、育てている野菜の水やりをするためです。

3年2組では、手作りピザに合う野菜の栽培を行っています。現在、学校での調理はできないため、収穫した野菜を持ち帰り、お家でのピザ作りに励んでいる子もいるようです。畑から戻る子どもたちの手には、立派なバジルの葉の入ったビニール袋が握られています。「バジルのにおいを嗅



がせて」とお願いすると、そのビニール袋の口を開いてくれます。とってもいい香りがしてきます。「1枚あげるね」と、採れたてのバジルの葉をもらう時もあります。

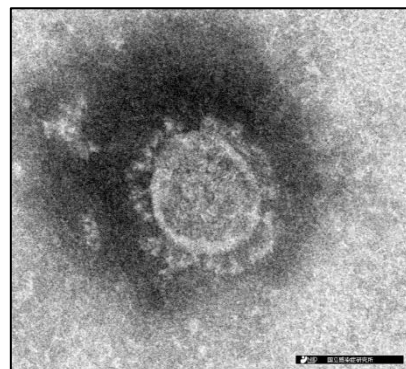
朝の様子的一端をお伝えしただけですが、様々な制約がある中、子どもの学び、暮らしは、着実に、確実に進んでいます。今号では、ZOOMによる副校長講話とPTAボランティアの様子を中心にお伝えします。

\*\*\*\*\*

## ウイルスのことを知ろう

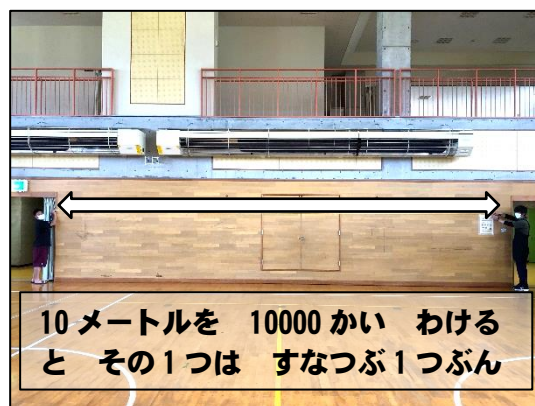
今は、新型コロナウイルス感染症の感染は落ち着いています。でも、これから、また感染が拡大するのではないかとわれています。皆さんも気を引き締めて、手洗いやマスク、換気、人との距離などに気をつける生活を続けていきましょう。

今日は、その「ウイルス」とは何かということをみんなと考えてみたいと思います。もしかしたら、皆さんの中には、先生よりよく知っている人がいるかもしれません。ウイルス、ウイルスといいますが、自分の目（肉眼）で見たことある人いますか。そうですね。これは、誰も見たことがないんです。先生も見たことはありません。写真では見たことがあります。これですね。新型コ



コロナウイルスの写真です。でも実物を見たことはありません。それはなぜかという  
と、ウイルスは小さすぎて人間の目では見えないのです。

どれくらい小さいかという、ここに 30cm ものさしがあります。この一番小さい目  
盛りの幅を 1mm といいます。この 1mm 幅を更に 10000 回区切った 1 つが新型コロナ  
ウイルス 1 つの大きさです。1 つの長さを  
10000 回区切るというのをイメージするた  
めに、先生たちに協力してもらったので  
すがこれを見てください。たとえば、こ  
の長さ（体育館の映像を示しながら）は  
10m あります。この 10m を 10000 回  
区切ると、その 1 つは 1mm になりま  
す。すなわち 1 つ分です。10m でも  
すなわち 1 つ。では、1mm を 10000  
回区切ったら…見えないですね。



それくらいウイルスとは小さいので、目で見ることができません。ではどうして、  
こんな写真があるのでしょうか。見えないものを写真でとることはできるものでしょ  
うか。皆さんならどうしますか。

小さいものを見るときに使うのが、虫眼鏡や顕微鏡ですね。でも、ウイルスの小さ  
さは、虫眼鏡や理科室にある顕微鏡でも見ることができません。それはなぜかとい  
うと、理科室の顕微鏡は見たいものに光を当てて、レンズで拡大します。その「光」に  
限界があるからです。

そこで、発明されたのが「電子顕微鏡」というものです。目には見えないけれど、  
あるものを、目に見えるようにしてくれるものです。電子顕微鏡は 2 種類あって、1  
つは、見たいものに電子線というものを当てて、その表面をなぞります。そして、そ  
こから放出される電子の情報を集めて画像にする「走査電子顕微鏡」というもので  
す。もう一つが、見たいものを通り抜けた電子の影絵を観察する「透過電子顕微鏡」  
です。先ほどの新型コロナウイルスの写真は「透過電子顕微鏡」でとったものです。  
「走査電子顕微鏡」は比較的大きなものをみる時に使います。立体的な像になりま  
す。例えば、（次のページの枠内にある写真が実際に示したものになります）「透過  
電子顕微鏡」は比較的小さいものを見ることができます。あまりはっきりとはしませ  
ん。いずれも色はついていません。教育学部の先生に伺ったところ、教育学部にはと  
ても古い電子顕微鏡はあるようですが、古くて使っていないということです。工学部  
には使っている電子顕微鏡があるということでした。

このようにして、目には見えないけれど、ある、ウイルスというものを電子顕微鏡  
で見ることができるようになりました。そしてウイルスとは何かということも少しず  
つわかってきました。皆さんはどんなウイルスを知っていますか。風邪の原因の一つ  
となるライノウイルス、ノロウイルス、インフルエンザウイルス、狂犬病ウイルス  
（このウイルスにかかった犬が凶暴化して、人をかみ、かみついたところから感染が

広がっていく。日本では、1950年に狂犬病予防法が施行され、犬に年2回のワクチン接種が義務付けられたところ狂犬病にかかる人がなくなった。しかし、外国の人で、海外で犬にかまれて、日本に来て発症、6月に死亡したというニュースがある) エイズウイルスなど…世の中には少なくとも6000種以上のウイルスがいるとされています。とてもたくさんの種類のウイルスがいるということです。そして、ウイルスは「生物」なのかどうか。生物ではないという人がいます。いや生きているという人もいます。皆さんも考えてみてください。ウイルスは、殻の中に遺伝物質が入っているだけの簡単な構造であり、他の生きものの細胞に感染して増える性質があり、自分の力では増えることができないという性質があります。

今日は「ウイルスとは何か」というお話をしました。ちょっと難しいお話だったと思います。新型コロナウイルスにはまだまだわからないことが多いようです。今、この瞬間も多くの科学者やお医者さんが研究し、このウイルスと共に私たちが生きていく方法を編み出そうと努力してくれています。私たちもこの目に見えないけれどあるウイルスのことを知った上で、感染しないために、自分たちにできること、手洗い、マスク、換気、人との距離等をしっかりとしていきましょう。

これでお話を終わりにします。

お話の途中、副校長先生は、右の2枚の写真を提示しました。どちらも、ある植物の花粉です。上の花粉の映像が登場すると、4年2組からは、「おしりみみたい」というつぶやきが聞こえ、下の花粉の映像が登場すると、「ドリアンみたい」という声が聞こえてきました。目の前に見えるものを見たままに、感じたままに表現できるって、素敵だなと思いました。

保護者の皆様は、この2つの花粉は何だと思いますか。お子様に聞いてみてください。ヒントは、1つはお正月、1つは太陽です。トゲトゲにも理由があるようです。

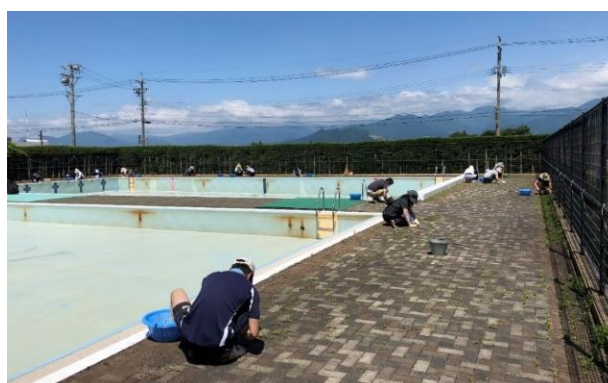
写真は掲載できません。『探検！発見！ミクロのふしぎ』（少年写真新聞社）に掲載されている2枚の写真になります。写真をご覧になりたい場合には、こちらの本よりご覧いただくようお願いいたします。



\*\*\*\*\*

## プール清掃（校庭の草取り）ありがとうございました

6月22日（月）から26日（金）の5日間、PTAボランティアによるプール清掃が行われました。保護者の方に高压洗浄車を提供いただき、プール槽が1日できれいになりました。2日目からは、プールサイドの草取りと校庭のトラック内の草取りを同時進行で行い



ました。強い日差しを浴びての作業になりましたが、暑さに負けず取り組んでいただきました。最終日は雨模様になり、校内の作業ということで、校舎と体育館の窓のさんをきれいにさせていただき、トイレ掃除、タブレットPC・本の消毒も行っていただきました。大変きれいになりました。ありがとうございました。

5日間で90名近くの保護者の方々にご参加いただきました。プールはもちろんのこと、きれいにさせていただいた場所を、物を、きれいなまま継続して使うよう、心がけて参ります。

\*\*\*\*\*

## よりよい授業とは…、共に在る授業とは…



5年1組 理科



4年1組 理科



2年2組 生活



3年1組 総合

学校の再開と同時に、本校の使命の1つでもある“授業研究”も再開です。6月18日・19日の2日間、中心講師の吉永先生をはじめ、学部の先生、教育事務所の指導主事をお招きにし、授業が公開されました。吉永先生からは「目に見えることばかりにたよってはいないか」というお言葉をいただきました。子どもと共に在る中で、目には見えない、子どもの行為の内に在るものを探ながら、職員みんなによりよい授業づくりをめざして参ります。

### <お知らせ>

- (1) 7月27日(月)～30日(木)に予定されている『希望個別懇談』の申し込み締め切り日は6日(月)です。ご希望される方は、ウェブアンケートより申し込みください。(一斉メールでもURLお伝えしてあります。)